

中部・関西地区柔整師会議 (平成 23 年 5 月 15 日 於:名古屋国際ホテル)
アンケート集計結果【申し込み 58 名 当日参加者 48 名 アンケート回収 41 名】

①柔整診療歴はどれくらいですか？(勤務経験を含む)

20 年以上…16 人 10 年以上…13 人 5 年以上…7 人 1 年以上…5 人 1 年未満…0 人

②会議のテーマはいかがでしたか？

良い…31 人 ふつう…6 人 他のテーマがよい…0 人 回答なし…4 人

- 今後のこの業界を存続して行く為に必要な具体的なテーマだったと思います。
- もっと底辺に大きな問題が山積みである。例えば傷病名とか？
- テーマに対して会議の時間がなさすぎる。
- 行動(実行)なき理念は無価値になると思いますので、良い方向へ行動あるのみと思います。
- 司会者の独壇場である。もっと柔整師の発言を促すべき。

③会議のテーマ「療養費受領認定柔道整復師制度」について

必要性がある…30 人 必要性ない…4 人 どちらともいえない…6 人 無記入…1 人

- 現場での保険請求の知識を知る前に基本的なスタンダードな知識を得る必要がある。その為の一役を担うような制度である必要がある。
- 業界のレベルアップに必要である。
- 保険者に疑われたり、グレーゾーンを黙認されているのであれば、認定を受け保険請求したいと思う。
- 誰でもすぐに柔整師になれるので、このままでは制度がダメになってしまう。
- 学校が教えないのはなぜか。
- 認定制度をやるとしたら、どこがやるのか？
- もっとふるいにかけるべき。
- 柔整師の将来の為に必要である。
- 柔整師の数が増え続けている為、不可能ではないか？
- 今の制度があいまいな為、全てきちっとしたものを作ると、デメリットの方が多くなる気がする。

④会議のテーマ「支払機構」の内容について

必要性がある…28人 必要性はない…0人 どちらともいえない…8人 無記入…5人

- 今後審査基準の統一をする意味で、良い事だと思います。
- 個人請求が増えているので、保険者にはメリットがある。現状のままでは償還払いになりそうだ。
- 支払機構の内容を明確にしてほしい。
- 支払機構が現実化した場合、日整・JBなどの団体が必要性守るために審査しないようでは、効率的ではないような気がする。(事務局コメント：支払機構と審査が混同されている)

⑤会議のテーマ「部位別請求」について

廃止すべきだ…11人 廃止すべきはない…11人 どちらともいえない…17人
無記入…2人

- 実質、今の部位別請求は定額制度のようなものだ。
- 柔整師側としては部位別請求がよいが、患者側はまるめ請求のほうが分かりやすいかもしれない。
- まるめ請求とはどのような単価請求かわからない。
- 治療内容に適した請求が必要。
- 部位別ではなく、痛みに対する請求にするべきだと思う。
- 現在の部位のみでは、対応困難な面もあるが、骨折・脱臼・打撲・捻挫等、部位が明確なものには部位別請求が必要である。
- 部位別請求を検証してから、まるめの方向に正攻法的に議論を進めるべき。

⑥会議のテーマ「患者照会文書」について

6-1 患者照会文書は必要か
必要である…16人 必要でない…11人 どちらか分からない…10人 無記入…4人

6-2 患者照会文書は、柔整師に対して不信感をもたらす内容が多い…36人 少ない…0人 どちらか分からない…1人 無記入…4人

- 知識の違いが患者さんと治療者の間にはあるので十分な説明をしたつもりでも十分でない場合があります。柔整師側にも請求を止める前に確認が必要なのではないかと思う。
- 実際に、患者さんが文書を返送しない・捨てる・適当に回答する等の対応をしたら、請求額は入金されないのか？当院はオフィス街にあり、この照会文書だらけで困っています。

- 申請書（レセプト）のサインは、後からでは出来ません。
- 患者自身に問題があるように受け取られる。
- 照会文書の内容を見ると、暗に接骨院を否定する内容が多々ある。
- 悪意のある内容が多いと思われる。
- 患者照会によって返戻された申請書（レセプト）を、再提出しない事案が多い。この事実が、調査会社に対する利益をもたらしているのではないのでしょうか？

**⑦あなたの柔整診療は保険診療(療養費)のみですか？自由診療のみですか？
保険診療・自由診療の両方を行っている方は、その割合を教えてください。**

保険診療のみ…8人 自由診療のみ…0人 両方…33人
割合→保険診療:自由診療 5:5…1名 6:4…3名 7:3…4名 8:2…8名 9:1…13名

⑧あなたの柔整診療の、外傷性(保険対象)・慢性の割合を教えてください。

外傷性(保険対象)のみ…9人 慢性のみ…1人 両方…29人 無記入…2人
割合→外傷性:それ以外 1:9…2名 2:8…3名 3:7…6名 4:6…2名 5:5…1名
6:4…6名 7:3…2名 8:2…1名 9:1…2名

- 明確には分かりません。慢性を扱うつもりはないのですが、実際は扱っていると思います。

⑨柔道整復師以外に資格を持っていますか？

はり師…15名 きゅう師…15名 あん摩マッサージ指圧師…5名
理学療法士…1名 ケアマネージャー…1名

ご意見・感想等、ご自由にご記入ください。

- 団体の連合化が必要とおもいます。
- 国家資格者以外の問題を話し合ったら良いと思う。
- 1症か2症で、現在の3症請求程度に、料金の改定を希望する。
- 業種の存続自体が危ないのではないか。
- 業界一元化が必要だと感じたので、そのことをテーマにしてはどうか。

以上